

# 彙 報

## 目 次

- 1 東南アジア研究センター人事
- 2 東南アジア研究センター管理委員会開催日および議題
- 3 東南アジア研究センター運営委員名簿変更
- 4 東南アジア研究センター運営委員会開催日および議題
- 5 東南アジア研究センター編集委員名簿追加
- 6 東南アジア研究センター学外研究参加者名簿追加
- 7 東南アジア研究センター奨励金受給者
- 8 東南アジア研究センター留学生募集要項
- 9 東南アジア研究センター研究例会記事
- 10 国外からの訪問者
- 11 関係者往来

### 1 東南アジア研究センター人事

社会構造研究部門と資料部の設置に伴い、以下の人事決定を行なった。  
昭和42年8月1日付けをもって石井米雄助教授が教授に昇任となった。  
農学部助手久馬一剛が助教授となり、工学部研究生高谷好一が助手に採用された。

### 2 東南アジア研究センター管理委員会開催日および議題

昭和42年7月4日

- 1 専任教官の選考について

### 3 東南アジア研究センター運営委員名簿変更

退任委員 法学部教授 溜池良夫  
新任委員 経済学部教授 田杉 競  
〃 理学部教授 小沢泉夫

### 4 東南アジア研究センター運営委員会開催日および議題

昭和42年7月10日

- 1 教官の人事について
- 2 学外研究者の参加について

昭和42年9月18日

- 1 留学生募集の件

### 5 東南アジア研究センター編集委員名簿追加

東南アジア研究センター助教授 久馬一剛

6 東南アジア研究センター学外研究参加者名簿追加

所 属	職 名	氏 名	研 究 題 目
岡山大学法文学部	教 授	芳 川 俊 憲	東南アジア特にインドネシアの国際政治学的研究

7 東南アジア研究センター奨励金受給者

研究生高谷好一は東南アジア研究センター助手に採用のため、研修員三谷恭之はアメリカ合衆国コーネル大学に留学のため、それぞれ7月末でもって奨励金の受給を打切られた。

8 東南アジア研究センター留学生募集要項

東南アジア研究センターは、東南アジアにかんする研究者の養成を目的として東南アジアに留学を希望するものを下記のとおり募集する。

記

1. 留学地 東南アジア
2. 留学期間 約1カ年 昭和43年1月以降
3. 採用予定人員 若干名
4. 費用 全額支給する
5. 応募資格
  - 1) 京都大学大学院学生、またはこれと同等以上の学力のある者
  - 2) 東南アジア諸語のうち少なくとも一つを習得せんとする者でかつ英語に堪能な者
  - 3) 将来現地調査に耐え得る体力と意志とを有する者
  - 4) 昭和7年4月1日以降に生まれた者
6. 応募書類 東南アジア研究センター事務室で願書を受理し、必要事項を記載のうえ当研究センターに提出すること。
7. 締切期日 昭和42年10月31日(火)
8. 選 考 センターに設けられた選考委員会において書類選考を行ない、適任者については、筆記試験と面接選考および健康診断とを行なう。

9 東南アジア研究センター研究例会記事

第128回 昭和42年7月13日

座長：港種雄（京大工学部講師）

高谷好一（京大工学部研究生）「タイ国の第四紀地質について」

第129回 昭和42年8月11日

座長：藤原元典（京大医学部教授）

東 昇（京大ウイルス研究所教授）「ビルマより帰って」

第130回 昭和42年9月8日

座長：岩村 忍（京大東南アジア研究センター所長）

本岡 武（京大東南アジア研究センター教授）「アメリカにおける東南アジア研究管見」

芦田譲治（京大理学部教授）「生物調査隊随行談」

第131回 昭和42年9月14日

座長：岩村 忍（京大東南アジア研究センター所長）

坂本恭章（東京外大アジア・アフリカ言語文化研究所助手）「カンボジア留学から帰って」

第132回 昭和42年9月28日

座長：姫岡 勤（京大教育学部教授）

水野浩一（京都府立大学講師）「東北タイ農村の経済活動」

10 国外からの訪問者

年 月 日	氏 名
昭和42年7月17日	Dr. Ann Wiwlnr, Research Fellow, Princeton University, New Jersey, U.S.A.
昭和42年8月7日	Mr. Said Uddin Khan, Brigadier General, Claremont College, Calif., U.S.A.
昭和42年8月9日	Dr. Victor M. Fic, Executive Secretary of Nanyang Research Institute, Nanyang Univ., Singapore
昭和42年8月30日	Prof. Hsü Yün-Ts'iao, Vice President, Royal Asiatic Society, Malaysian Branch, Director, The Southeast Asian Research Centre, Singapore
昭和42年9月4日	Mr. James Osborn, Coordinator, Development Advisory Group, The Asia Society, New York, N.Y., U.S.A.
昭和42年9月16日	Mr. David A. Feingold and Miss Karen Kerner, Research Fellows, Dept. of Anthropology, East Asian Institute, Columbia University, New York, N.Y., U.S.A.
昭和42年9月26日	Mr. William Maxwell, Dept. of Sociology, University of California, Los Angeles and Research Fellow of East-West Center, Honolulu, Hawaii, U.S.A.

11 関係者往来

氏 名	出 発	帰 国	行 先
岩 村 忍(京大・東南ア研・所長)	42. 6.23	42. 7. 6	イギリス, イラン
東 昇(京大・ウイ研・教授)	42. 7.20	42. 8. 3	ビルマ, タイ
本 岡 武(京大・東南ア研・教授)	42. 7.22	42. 7.28	マレーシア, タイ, シンガポール
芦 田 讓 治(京大・理・教授)	42. 7.31	42. 8.31	タイ, マレーシア, シンガポール
平 野 実(京大・教養・教授)	42. 7.31	42. 9.20	〃
田 川 基 二(京大・理・助教授)	42. 7.31		〃
上 野 俊 一(国立科学博物館・文部技官)	42. 7.31	42. 9.20	〃
岩 槻 邦 男(京大・理・助手)	42. 7.31		〃
清 水 建 美(信州大・教養・助教授)	42. 8.10		〃
北 川 尚 史(奈良教育大・助教授)	42. 8.10		〃
小 山 博 滋(国立科学博物館・文部技官)	42. 8.10		タイ
福 岡 誠 行(京大・理・調査補助員)	42. 8.10		タイ, マレーシア, シンガポール
本 岡 武(京大・東南ア研・教授)	42. 8.12	42. 8.27	アメリカ合衆国
坂 本 恭 章(東京外大・AA研・助手)		42. 8.14	カンボジア